

社団法人 日本病院会 平成 21 年度 第 1 回 定期 理事会 議事抄録

日 時 平成 21 年 5 月 23 日 (土) 13:00～14:50

場 所 東京都中央区・ロイヤルパークホテル 3 階「有明の間」

出席者 山本 修三会長

池澤 康郎、佐藤 眞杉、塚 常雄、大井 利夫、宮崎 忠昭 各副会長

林 雅人、宮崎 瑞穂、石井 暎禧、梶原 優、木村 壯介、齊藤 壽一、末永 裕之、

松本 隆利、大道 道大、小川 嘉誉、中島 豊爾、安藤 文英、宮崎 久義

須古 博信 各常任理事

吉田 哲憲、西村 昭男、佐々木 崇、宮下 正弘、濱崎 允、有我由紀夫、

高橋 正彦、遠藤 昌夫、原 義人、中井 修、崎原 宏、関口 令安、

新納 憲司、中 佳一、山田 哲司、山田 實紘、神原 啓文、足立 幸彦、

松谷 之義、藤原 久義、砂川 晶生、奥村 秀弘、小西 裕、片岡 善彦、

武久 洋三、細木 秀美、吉田 博、今泉暢登志、岡留健一郎、高野 正博、

松本 文六、石井 和博 各理事

柏戸 正英、中川 正久 両監事

加藤 正弘 代議員会議長 野口 正人 代議員会副議長

奈良 昌治 顧問

行天 良雄、高久 史麿、岩崎 榮、鴨下 重彦、宇沢 弘文、久常 節子、

堀内 龍也、渡辺 俊介 各参与

星 和夫、佐合 茂樹、大道 久 各委員長

三浦 将司、福田 浩三、福井 洋 各支部長

総勢 73 名出席

定刻となり、佐藤 眞杉 副会長の議事進行により会議を開始。

山本会長から開会挨拶を述べた後、本日の会議は代議員会、総会を控え限られた時間で運営しなくてはならないため、承認事項の審議を行い、報告事項は、手短かにお願いしたいと理解を求めた。なお、報告事項の冒頭に、新インフルエンザの状況を兵庫県と大阪府の先生に報告をいただくとした。本理事会は、理事定数 65 名中、出席者 52 名、委任状 13 通であり、過半数(33 名)を超え成立している旨の報告後、議事録署名人に遠藤 昌夫(埼玉県)、中 佳一(神奈川県)両理事を選任した。

〔承認事項〕

1. 会員の入退会について

前回の役員会後の会員移動として、正会員の入会 3 件、正会員の退会 4 件、賛助会員の入会 1 件、賛助会員退会 3 件について承認した。

(正会員の入会 3 件)

- ①埼玉県・個人・豊岡第一病院 (会員名：山根 宏夫 院長)
- ②神奈川県・医療法人 愛慈会・相和病院 (会員名：川村 一彦 理事長)
- ③京都府・医療法人 美杉会・男山病院 (会員名：壺井 和彦 病院長)

(正会員の退会 4 件)

- ①北海道・公益法人・釧路医師会病院 (会員名：西池 彰 会長)
- ②東京都・医療法人 愛生会・北町病院 (会員名：大畑 隆郎 院長)
- ③東京都・医療法人 恵仁堂・丸茂病院 (会員名：丸茂 裕和 理事長)
- ④兵庫県・個人・ヒトラ外科病院 (会員名：人羅 俊雄 院長)

(賛助会員の入会 1 件)

- ①A会員・東京都・サクラグローバルホールディング株式会社

(賛助会員の退会 3 件)

- ①A会員・東京都・三菱化学メディエンス株式会社
- ②A会員・大阪市・エス・バイ・エル株式会社
- ③D会員・東京都・松本 謙一

平成 21 年 5 月 23 日現在、正 会 員 2,648 会員
特別会員 241 会員
賛助会員 234 会員 (A 会員 98、B 会員 101、D 会員 35)

2. 各団体からの依頼について

下記依頼事項について審議した結果、依頼を承認した。

(継続：後援 2 件)

- ①第 11 回フォーラム「医療の改善活動」(医療の TQM 推進協議会)全国大会 in 大阪の後援
- ②「自治体総合フェア 2009」協賛名義使用 (日本経営協会)

(新規：後援 2 件)

- ①第 1 回学術集会 (日本医療メディエーター) に対する後援
- ②第 1 回アジア慢性期医療学会 (日本慢性期医療協会) に対する後援

3. 平成 21 年度代議員会、総会の議案について

下記の議題案について概略の説明があり、代議員会、総会の議案として承認された。

なお、平成 20 年 12 月 1 日新公益法人制度施行により、日本病院会も自動的に特例民法法人 (特例社団法人) へ移行になり、5 年間の移行期間中に所要の申請手続きを行わなくてはならない。申請手続きは、新公益法人会計基準により作成された公益目的支出計画の策定、従来の収支計算書ベースから損益計算書ベースの収支予算書提出などが義務づけられる。日本病院会も公認会計士の指導により、平成 21 年度より新公益法人会計基準に則って会計処理を行うことになった。新公益法人会計基準では、勘定科目の変更や、各特別会計を廃止し一本化した処理など、従来の会計処理とは大幅に変更となる。このため、平成 20 年度までの会計処理と、平成 21 年度以降の会計処理が大幅に異なっている旨の現状説明がされた。

① 平成 20 年度事業報告（案）について

冊子「平成 20 年度事業報告」案を配布した。年々厚さが増しているが、これを見ていただければ 1 年間の日病の事業内容がわかる。

② 平成 20 年度収支決算書（案）について

平成 21 年度から新公益法人会計基準となるため、一般会計と事業会計によるスタイルでの報告はこれで最後となる。

③ 平成 21 年度事業報告（案）について

定款に定められた本会の事業内容の中で、今年度は重点項目として、新公益法人制度への対応、日本病院会創立 60 周年（平成 23 年度）への対応等、10 項目を掲げた。

④ 平成 21 年度予算（案）について

今年度より新公益法人会計基準となり、一般会計のみとなる。各担当より提出された予算案について、会長・副会長会議で精査し、この予算案を作成した。

4. 代議員の異動について

下記について県より異動の申し出があり、検討の結果、承認された。

① 秋田県・公的・4 月 1 日交代

旧) 大渕 宏道 (山本組合総合病院 院長)

新) 小野地 章一 (仙北組合総合病院 院長)

② 岩手県・私的・退任 (ご逝去 平成 20 年 5 月 20 日)

旧) 遠山 美知 (医療法人 遠山病院 理事長)

5. 人間ドック健診施設機能評価認定施設の指定について

健診施設機能評価として、下記施設を認定した。

(新規認定施設 2 件 Ver. 2)

① 鹿児島県・特別医療法人 博愛会 さがらパース通りクリニック
人間ドック ウェルライフ

② 東京都・学校法人 武蔵野女子学院 武蔵野大学メディカルセンター

(更新認定施設 4 件 Ver. 2)

① 愛知県・医療法人社団 喜峰会 東海記念病院健康管理センター

② 大阪府・医療法人 生長会 ベルクリニック

③ 神奈川県・医療法人社団 亮正会 高津中央クリニック

④ 東京都・財団法人 健康管理事業団 イムス八重洲クリニック

[報告事項]

冒頭に新インフルエンザの現状について、兵庫県の藤原久義理事と大阪府の小川嘉誉常任理事から報告を受けた。それによると患者は 5~29 歳がほとんどで、CRP も高値ではなく、タミフル服用で翌日は発熱も下がる状況で、季節性インフルエンザと同等である。現在求められている対応は、鳥インフルエンザの対応であるので、季節性と同じ対応で良いと考える。また、今回の対応の中で、苦情等が頻繁に寄せられ、電話相談窓口等は完全にマヒしてしまった。発症の疑いのある人が電話してもつながらないため、

直接救急病院に来てしまう。もっと蔓延したらこの体制は全く機能しなくなってしまうので、平素より災害医療等に対応できる体制を整えるべきであるとされた。

その他の意見として、奈良県ではまだ発症例は無いが、熱・咳等があれば発熱外来へ行くように言われており、発熱外来では防護服を着て対応している。しかし現状からするとその必要性はなく、医療の現場では疲弊が激しいとされた。

また、大阪府からは、緊急アンケートを行ったところ、簡易キット、タミフル等の備蓄が無い病院が1/3もあった。その理由は病院にゆとりが無く買えないということなので、要望する際は、資金援助をお願いしたい旨を盛り込んでほしいとされた。

上記の報告を踏まえて、日本病院会としての取りまとめを行い、早急に厚生労働大臣に提出するとされた。

1. 各委員会開催について

下記について報告がされた。時間の関係上、一部は一読願うことで報告の代替とした。

- ・第14回 病院幹部医養成委員会 (4月24日)
- ・第1回 医療の質を考えるセミナー(4月24日)
- ・第1回 DPC コース小委員会(4月30日)
- ・第1回 基礎過程小会(5月12日)
- ・第1回 医師事務作業補助者小委員会(5月13日)
- ・コーディング勉強会(4月14日～5月17日)
- ・日本診療情報管理学会 第1回編集委員会(5月11日)
- ・日本診療録管理学会 第1回診療情報管理士業務指針WG(5月15日)
- ・日本診療録管理学会 第1回生涯教育委員会(5月22日)
- ・第2回 医療経済・税制委員会 (5月12日)
- ・第2回 医療制度委員会 (5月13日)
- ・第6回 公益法人制度見直しに係るプロジェクト委員会(5月14日)
- ・第2回 人間ドック施設認定小委員会／評価委員会合同委員会(5月14日)
- ・第1回 病院経営管理者協議会 編集委員会(5月15日)
- ・第1回 病院経営管理士教育委員会 (5月21日)
- ・第2回 雑誌編集委員会 (5月21日)

2. 日病協について

- ・5月19日(火) 第1回 死因究明制度等に係るWG

各団体から意見が出たので、日病協としての意見をまとめたい。

- ・ 5月20日(水) 実務者会議

中医協への対応と連携しており、中医協報告を代替して割愛した。

3. 中医協について

時間の関係上、下記の会議から、抜粋して概要報告が実施された。

- ・ 4月27日(月) 第2回DPC評価分科会
- ・ 5月14日(木) 第3回DPC評価分科会
- ・ 5月20日(水) 総会、診療報酬基本問題小委員会

下記議題については、一部報告を実施し、その他の報告は割愛した。

4. 四病協関係の会議開催報告について

- ・ 5月1日(金) 第2回医療保険・診療報酬委員会
- ・ 5月8日(金) 第1回医療従事者対策委員会

5. 行政関係の各種検討会等の開催報告について

- ・ 4月28日(火) 第1回 看護教育の内容と方法に関する検討会

下記の検討課題について検討していくこととなった。

- ①免許取得前に学ぶべき事項の整理と具体的な教育内容の見直し
- ②看護師養成機関内における教育方法の開発・活用
- ③効果的な臨地実習のあり方
- ④保健師・助産師教育のあり方

- ・ 5月12日(火) 国会議員のシンポジウム

医療版事故調～国会での十分な審議と早期設立を求めて～のタイトルで実施され、各党から意見が出された。

6. 第59回 日本病院学会の進捗状況について

7月23(木)～24日(金)に開催される第59回 日本病院学会の学会長である宮崎久義 常任理事より進捗状況が報告され、テーマは「よりよい医療のあり方を求めて」により熊本市で開催するとして、多数の参加が呼びかけられた。

7. 第35回 日本診療情報管理学会学術大会の進捗状況について

9月17日(木)～18日(金)に静岡県浜松市で開催される日本診療情報管理学会学術大会の学術大会長である堺 常雄 副会長より進捗状況が報告され、多数の参加が呼びかけられた。

8. IHF(国際病院連盟) 諸会議の開催報告について

5月15日(金)にフランス パリでIHF 理事会が開催され、山本会長の代理として堺 副会長が出席した。IHF 規約改正(案)の検討等がされたことが報告された。

9. 日本人間ドック学会創立 50 周年記念式典の進捗状況について

第 50 回日本人間ドック学会に併せ、9 月 3 日（木）16:00～記念座談会、16:45～記念式典を行う旨の説明が、奈良顧問（日本人間ドック学会理事長）よりされた。この式典は日病と日本人間ドック学会との共催で行う。

10. 日本病院会ロゴマークについて

前回、ロゴマークとして選んだものが、他の会社のロゴマークと全く同じものであることがわかった。決定した旨を日本病院会ニュースに掲載したが、本会の立場として、他社と同じものは使えないため、このロゴマークは取りやめとし、再度検討させていただく。

〔協議事項〕

時間の関係上、協議事項は省略とされた。

以上